

[平成18年8月30日]

件名	保育園給食調理業務の委託施園拡大について
骨子	平成19年4月から保育園給食調理業務を新たに2園で委託する。
平成18年度委託の実施内容	<p>1 委託の考え方</p> <p>(1) 在園児及び地域の在宅育児家庭に対して食育を推進する。</p> <p>(2) アレルギー対応について、除去食から代替食へと対応を強化する。</p> <p>(3) 調理体制を強化し、土曜日等における給食内容を充実する。</p> <p>(4) これらを効率的に進めるため、保育園に栄養指導等を行う非常勤職員を配置するとともに、調理業務を民間委託する。</p> <p>2 委託の内容</p> <p>保育園の調理室における一連の調理業務を委託する。 献立作成、食材発注・検収、保護者対応等は従来どおり区が行う。</p> <p>3 委託実施園 三河島保育園、ひぐらし保育園</p>
平成18年度委託の評価	<p>1 委託後の状況</p> <p>(1) アレルギー対応について、保護者から感謝、満足という評価を受けている。</p> <p>(2) 土曜献立の充実、手作りおやつ回数を増やすなど、給食内容を充実した。今後、七五三等の行事食も園独自にアレンジする予定。</p> <p>(3) 食育については、子ども達にそらまめ等の食材を用いた話をして、食への関心を高めている。また、展示食にコメントを付す等している。</p> <p>(4) 給食だよりの発行(3回)</p> <p>(5) 試食会は、受託会社も参加し実施した。(参加者107人)</p> <p>(6) 保護者の意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが給食とおやつを楽しみにしている。 ・展示食に説明があり参考になった。 ・試食会があり、量や味付けがわかりよかった。 ・現状が保たれ、今後も安全でおいしい給食の提供を期待する。 <p>2 削減効果 調理員3人×2園=6人 約9百万円</p>
平成19年度の委託実施園	<p>1 委託の考え方や内容は、18年度と同様にする。</p> <p>2 保育園及び学校の定年退職による職員数の減を踏まえる。</p> <p>3 栄養士の配置等による効果が大きい0歳児保育実施園とする。 (離乳食など園児への個別配慮、アレルギー対応など)</p> <p>4 調理員専用の休憩室やトイレ等の物的条件が整っている保育園を対象とする。</p> <p>5 以上のことから、原保育園、荒川さつき保育園の2園で給食調理業務を民間に委託する。</p>
今後の予定	<p>18年9月4日 文教・子育て支援委員会報告</p> <p>18年9月 保護者説明開始</p> <p>18年12月 業者推薦会の開催、業者への調査</p> <p>19年1月 契約の準備、非常勤栄養士の募集</p> <p>19年3月 委託業者研修</p> <p>19年4月 委託業務開始</p>